



雅言通載抄 挿一

服部文庫
イ17
447
/



117
447
1

此書の好より

この中を極端に好む人

は、書の内容と、筆致を以て

其の美を評するなり

吾師より、
カカシ
ヨソヒ
アニヒ

極端な足踏の二つあり

筆道秘訣少巻之二

天保十二年二月

天保十二年二月

天保十二年二月

天保十二年二月

原書雅言通載引書目

古事記	記	日本書紀	紀
續日本紀	統	日本後紀	後
日本逸史	逸	續日本後紀	統後
文德實錄	文	三代實錄	三代
舊事記	旧	類聚國史	
今集解		日本紀略	
古語拾遺	古拾	倭姬世記	倭

內外儀式帳

外儀

姓氏錄

姓

律

令

格

儀式

儀

內裡式

延喜式

式

諸國風土記

日本靈異記

靈

西宮記

西宮

北山抄

北山

江家次第

江

佛足石歌

佛足

神樂

神

催馬樂

催

風俗歌

風

竟宴歌

竟

遊仙窟

遊

新撰字鏡

字

和名抄

和

和名本草

菅家万葉

新万

文選

五經古訓

康賴本草和名

大同類聚方

醫心方

神遺方

心醫方

朝野群載

東

江談抄

江談

東鑑

東

將門記

將

新猿樂記

釋日本紀

白氏文集

本朝文粹

史記

漢書

玉篇

真名伊勢物語

梁塵抄

體源抄

秋萩帖

古事談

古談

扶桑畧記

中右記

紀氏系圖

雅言通載抄上卷

○安

挿頭部

あ 吾^記我^記僕^記妾^記阿^レ礼^記阿^レ例^記阿^ア餓^ガ阿^ハ賀^記

あ 阿^ア波^ハ上^上阿^ア藝^キ我^ア君^キ五^五吾^ア孀^マ月^月七^七吾^ア子^ゴ統^統十^十七^七

阿^ア誤^ゴ豫^ヨ紀^紀三^三阿^ア西^セ鳴^ラ日^日十^十品^品皇^ラ朕^ガ統^統十^十七^七此^此ハ^ハス^スメ^メラ

あ 僕^ヤ余^カ遊^遊仙^仙奴^ヌ吾^吾通^通音^音也^也あ 豈^記阿^ア耳^ニ統^統十^十七^七

あ 阿^ア多^タ良^ラ下^下阿^ア施^シ羅^ラ紀^紀十^十あ 強^記剛^剛遊^遊

あふや 阿那迦夜志 上 記 アナニシ 喜哉。妍哉。美哉 已上 紀十

あふや 妍哉此去鞅奈珥夜 一十七ウ

あふや 夭折 一 紀 暴 三 日 急 日 取急 三 日 更 遊

あふや 飄風 上 姓 アカシ 歎 紀十四 十八ウ 豫 紀 預 紀

あふや 阿々 紀 鳴々。噫々。咨々。嗟々。嗟乎 已上 紀

あふや 噫 中 灵異 嗟 字 一時 アルトキ 紀 野々

あふや 相 紀 共 紀 阿比 中 記 侍送 紀二 十ウ 逆戰 日古 交戰 日十七 十二ウ

あふや 推轂 アヒタスケ 日十四 アヒムコ 和十五 姪 和十五 露坐具床 記中 五九

あふや 敢 アチ 記 紀 敢 アヘ 天 統 あふや 大穴牟遲神 オホアナムチノ 按ア美意ニテタヘ辞サ

あふや 大醜 アナニシ 紀三 穴織 アナハトリ 日十 阿那佐夜惣 アナサヤダ 古 哥耐 アナノ 遊

あふや 何由 アナニク 可憎 遊 アヤニク 嗟 憎也 字 責也 一作嗟誤也

あふや 阿波礼 ハ 記 阿波礼 古 紀 あふや 多 紀 數 阿麻哆 紀

あふや 他 紀 異 紀 異人 アタシヒト 日 餘人 日

あふや 阿夜訶志古泥神 記上 按アヤアラ相通

あふや 阿夜迹 上 記 阿椰珥 紀 青疆城根尊 紀

あふや 装之部 ニ あふや 装之部 ニ

あぢ 阿遲鋤高日子根神上記

あぢ 装之部ニ
イダス
あぢ 宇知能阿又記

あまぬ 布采心普已上紀
歴紀流行紀匝紀拜日廿カ

あな 恰然紀谷川氏云哉
恰古拾宛詩泰風 按アタカモ 蕭段 ト訓ヘシ

あや 吐嗟紀廿四 十六ウ
新起高堂アラタニツル 紀十七 十三ウ

あそ 丙子到阿蘇國註云阿与奈 紀七 通何之義也 九ウ

あひ 或紀等 不及引證
飽見文君アクミデキ 遊

あい 安伊曾神香取 所々
安伊佐神 所々

あやなき 安也毛奈支東駿
あせか 安世可曾乃上

あい 安伊志神薦枕等
あ アツマヤナト
ア也

あら 安知乃也万世也万神アチマ豆 籬上 和十七 按波方ニル 豆ト云意カ

あ 阿誰後一 神今食
大臣問阿誰日五 鎮鬼

あぢ 於ノ件
載出
あぢ 阿誰阿礼波江談

○ 以

いま 今 記紀イニサラニ 今更 記中イマシ 向來頻盼 元 少府 護仙

いまのま 今乃間 続廿五イマ之紀 今 乃 間 日廿五

いふ 何。如何。 紀 奈行 上日 何由 記 那何 上日

いふ 詎 紀ノ 何容 日十九 いづ 未 記 伊麻陀 記

いふ 所謂 記紀 いづ 悉常血爛也 記上

いたく 大 記 甚 日 悲傷 紀

い 痛矢串 中記 痛手 日 伊多那加婆 日

いづ 伊豆能賣神 古 五御魂 紀 嚴 紀

いが 伊賀 記 伊賀比賣命 上日 栗刺 和

いろ 伊呂勢 記 伊呂泥伊呂抒 日 組某姉 又 弟

いら 郎子。郎女 記 御真木入日子印惠命 記

いづく 何處 記 伊豆久 記 いづ 此イツモ上ノ

いづこ 伊川古乃川惠曾 神 伊止古仁可 神ヒル 梁 イツ

いや 立於最前 記 伊夜佐岐陀氏流 已上ハ弥ノ意ニ 非ストリワキノ意

いや 弥 続三代 いか 装之部ニ

い 伊牟迦布神 記 上 伊波比母登富理 記 中 易喻者 紀 三

いざ 伊奢阿藝 記 中 去來 紀 伊邪古好母 記 中 卒 イサ、中 灵

いさあ 恰井過 紀 三 いつ 伊都 記 稜威 紀

いよか 弥轉 紀 逾俞 記 いさ。 不知 紀 十三ノ

いさか 少小 紀 片子信遊 イサ、キ 紀 三 輕賤 イサ、ケル 日 十三

いさきき 小事 イサ、キ 紀 十四 少上 日 いさき 膽狹淺太刀 紀 六

いま 汝爾乃 紀 伊末之 続 廿五 你祢 汝也字

いづこ 孰何曷 紀 記 誰神 カミ 紀 五 詎王 ミ 紀 三 伊川礼 イッレ 神 早

いと 甚最太遊 紀 太 伊止波多 イトハタ 神 早歌

いつか 何日忘之 イッカワスレム 紀 二 按 イッカワスレム 廿六 ト可訓ナリ 伊菟伽倭儒麗倅 イッカワスレム 竟 下

いく 幾 記 伊久 イク 記 伊句 紀 未幾時 イクタモアラス 紀 五

いぐぐ 未經浹辰 イクバクモヘデ 紀 七ノ 幾許費精神 イクハクカスダモシラ 遊仙

いあ 伊那志許米 イナシコメ 記 上 不須 イナ 紀 一 不 日

いふや 不 紀 いそむや 況 紀 十四ノ四ウ 又 十九モアリ

いふあや 何擊遣西方之惡人等而 イカナレヤ 記 中

いふあや 何可奈留夜 イカナナルヤ 仙足 伊可奈留於比曾 イカナナルオヒゾ 催 石川

いかさかに又詔如何 イカサマニモ 記中 世五 宣按イカサマモ ト可訓ナリ

いたらに徒 イタツラニ 記下 紀八 イヤノ件ニ イダノ

いさら閑曠 イタツラニ 紀廿五 五ノオ イタツラニトコロ 日 不食之所 十五ウ

い國稚地稚 クニイシツチイシ 紀ノ一 今按イハウノ 約ニテ即初ナリ

いか伊可多旦末都流 イカカタマツル 統十五 宣去イカ又ハ 四ノウ アガノ誤ナラム

いと誰忍送欵 イトホシノ界ナリ装ノ部ニモス 宣去イトコハイトホシコナリ イカニテ リマツルヤ 紀十四 二ウ

いふせむ爲之奈何 イカニセム 紀三 奈之爲何 四六ノ 何作 灵中 廿七

いふせむ何爲与砥欵 イカニセムヨトカ 新 如何爲 都々 統後土 加 十ウ

いかで何 紀十ウ 十ウ イクヲラ 神階 香取

いぐ何爲 イカニセム 三代 十一 イクヲラ 同右

いやくも苟 紀ノ三 十五ウ イキニ 五公 和七

い伊菟岐餓字倍 イツキガウヘ 注去五十 紀十一 今按イハコト通ス 槻之上也 十六 繁茂之義也

いで壓乞戸母 イデトジ 此去 紀十三 伊豆阿加駒 催 我駒

いり伊呂々々之木 イロロ 下 竟 イムジクニシス 紀十四 七ノウ

いたり至天淨久 イタリテキヨク 統廿五 十八オ イトハ 遊仙

いさら水潦易浸 イサラミツヤスシ 紀十八 二ノウ 潦水溢庭 日廿四 十七オ

牙言正軍本卷之一

いふはら
若。若箇。如許。
遊仙已上
伊加波加利神
ヒルメ

いやし
 伊夜益
 須益
 爾
 続
 弥益
 爾
 三代世
 十六才

い
や
ま
ふ
愈益
イ
ヤ
マ
シ
ル
三代世
十五ウ
い
う
伊都之可
イ
ツ
シ
カ
続世六
七ノオ

いぬ
香茅 イヌエ
荳蔻 イヌタテ 已上和
りち
五十人 イ
ヅ 槌 チ 新万下

いむさき
昔。曾、
已上紀ノ
十四

いくつ
五十人
新万上
訓不審可考

いつのまに
幾之間
新万
下

○宇

打^{ウチ}記^キ
 宇^ウ知^チ夜^ヤ米^メ
 記^キ上^{ジョウ}
 宇^ウ知^チ微^ミ流^{リウ}
 其^{ソノ}外^{ソト}多^タ

三紀
 宜^{ウベ}
 字、倍^記
 諾^上
 死罪々々^{ウヘナリク}
 臣之衍^{ニニ}
 紀十四

宇倍志許曾ウベシコソ
宇倍志訶茂ウベシカモ
紀廿二
十六才

無戸室 ウツムロ 紀ノ二
五丁

うめあり
諾 ノ 紀三ノ
毎郡利 毎郡利 五ノウ

うけたり
うつけ
無實國
ウルケタル
紀九ノ
七才
心虚
ココウツクテ
遊仙

圭
明
又
少
卷
之
一

擗

七

うを 宇波 記中 上筒 ハツ日 表津 ハツ 井於神 井ノウハノ 表裾 三代ニウハモ式一廿八

嫌字 ウケナリ 後夫 ウケナリ和ニ 占 紀

うづ 貴 古上 珍 紀一 宇豆 ウヅ 鈿 記式 髻華 以上

うて 宇多 タテ 豆 記中 轉 ハ 奇偉之戲 ウケテアル 戲 紀十六

うづ 轉 紀ノ 宇多陀怒斯 ウタダヌシ 歌凝比賣 ウタコノヒメ 古中宣云ウタテ心ト云意

うき 設弦 ウケユツル 于瑳由豆流 ウサユヅル 紀十二

うら 内拔 ウツヌキ 全剣 ウツハギ 内國 ウツクニ 内幡 ウツハタ 常風按已上皆全之意ニヤ

うー 宇斯 ウシ 大人 記上 端坐 ウツホニテ 遊仙

うゝ 未必相著死 ウタカタアハムトオモハサリキ 遊仙 躑 ウツラ 足下 和

うゐ 國雅地雅之時 クニイシツチイ 紀一 伊ノ件ニモ出スハ ウイロノ約ニウイシナリ

うま 馬覓 ウマヒユ 和 和十七 牛莖芳 ウマフキ 當歸 ウマセリ 日廿

うらな 打蠅手 ウチハヘテ 新万 新万 求合 日下

○ 衣

え 不得行 エユカズ 記上 四十一 不敢來 エコジ 紀一 十六 不能刺 エサシツラス 記中 廿七

え 疊々志夜胡志夜 エシヤコシヤ 記中 宣云盈ノ字ノ草書 五ウ 全同ケレク誤トセリ

え 大女 エヒメ 紀四 按姉ヲ約テエト云ナリ 詠詞掉頭ナラネト ニオ 紛ラハシケレバ今カリニ出シオクナリ

え 吉雲建子命 ユクモタツコノ 出雲 又倭 吉ハ夜ニ通テ 神子 世記 八雲タツト古カ

え 太加已 タカコ 体作 毛加与布 風筑 可考 波山

○ 於

おほ 大 記 意富 記 巨川 紀 一 虚空 紀 古 麋鹿 七

おほき 溟渤 オホキウ 紀一 十九 大臣 オホイニウチキミ 和五

おむ 刑部 オムサカヘ 和八 自然 記 紀 文 統

おの 已 記 紀 式等 飲廼餓 紀ノ 五 於能基呂島 記上

おの 御身 オホミ 記上 十オ 大御 オホミ 紀 燈明 オホミアカシ 和十三

おむ 於牟裳都无川 オムムツム川 催 老胤 ねよび及 続 江五

おの 各 記 紀 等 於乃毛 オノモ 於乃毛 十一ウ

於々於々神阿 東歌乎々乎トアリ今按朝野群載ニ於ト知女 アルヲ正トスヘシ警蹕ノ於々ナリ

意礼爲大國主神記上 紀二 偶 紀二 同三ノ 一廿九 廿六 六ウ

於煩釣記上 紀二 宣云オボシクト云ニ 五三 廿九 同シ明カナラヌ意

於登多那波女多記上 紀二 宣云オボシクト云ニ 四十一 於止牟須女 我門

於度飛女竟 下 於佐万佐 神 蟋蟀

已記中 三才僕日 廿二寡人記 所々 三十一我紀三 二才躬又躬 字

大造紀二 廿七於保与曾已呂毛神 宮人

於志止度 刀志 止度 今按俗ニオツトクトクト 古ニ月シク物ヲ禁スル辞左シ

飲懋古 拾於介神アチノ 催青柳於オホカタ 記中四十七 統廿四ノ七ウ

意富麻幣尔麻袁須記下 廿六大前統所々 又式

余以少娛聲色遊仙

隨介統後十五 按フ訓オフクト云ニヨクカナ 九丁ウ於期菜和十七

吁疑怪 字於於久迺佐加也 此殿奥

貫衆和廿於於久迺佐加也 此殿奥

飲朋呂伽瑪枳許瑳怒紀十二 十三ウ

於日右

○加

かき 故

記紀統
其外諸君

かき 必記要紀會遊

かく 如此如是 統

若此 一紀加久下 舸矩野 紀廿六
十四

かき 舸矩能御等

統 紀十四 加久斯麻 舸矩野 宣云カクサマ
廿七 二オナシ

かた 片

記 偏師 紀十四 傍國 紀六ハウ 堅洲國 凡隅 記上
也 十四

かき 傍

記紀諸部神 旧

かき 各記互紀行遊仙

かの 其

記紀 加乃佐支古衣天 神 早歌

かり 假

記 權 紀二 行宮 紀三 殞歛 紀一 化 能 大御身 統
六ハ 十五 廿七

かき 彼

記紀 加礼可良伊可牟 神 早歌

から 韓

記 鋤之劍 紀一 辛苴 統後 辛櫃 北山 加良保比 韓葵也
廿四 十二 四 催浅水

から 韓

記 國 上 哿羅哿枳 紀十六ニオ 按韓ハ借字ニア
空垣也 空ノ義ナリ

かき 還

記下 按ニタト 反 一 翻 上 顧 紀 返 却 遊仙
十二 訓ヘキカ

かき 翻

紀十五ノ十丁
又十七ノ十三

かき 撫而哭之 紀
世

かつ 都記 曾紀 掌日
かつ 加都賀都母記中
九才

かも 加母賀登記中
五十五

かふ 東西紀 加カ 加カ 久ク 尔ニ
統十 廿五

か 訶具漏比賣記 迦具波斯中

から 匙式 碓和 十三
か 彼廂此廂記中
六十

から 唐尾北山 按唐八假字意カ
か 上統 柱頭紀
廿六 十ウ

かる 如此紀 如是紀 更紀 代日
十九 廿八ウ

から 加々良麻志加波江
五 終

かつ 且紀 三才
其外諸唇
か 重紀 十六今按
シキテト可訓

かき 鹿父人名 紀十五
十六ウ

か 加久之已曾催 新年
か 加也留々々催
石川

か 加遍須々々統 廿
か 構倍互東 四

か 古乃毛加能毛尔風 常陸
か 加伊加留加也風 安津
未知

か 只且江 今夜者加波加利日
十二

○ 幾

きばき 極 キハシテ 紀

きみ 吉美毛可美所 キミモカミゾ 神木 綿作

きり 吉利々々 キリキリ 神星按キリキリ 立テケナト古辞カ

きり 寸斬 キリ 遊仙 又スダクニ

○ 久

くま 熊曾國 クマソノクニ 記上 神和ハクミ 馬鞭草 ニ

棋 クマシ 又クミツラ

く 黄金 クカネ 続十セナチク 又日十五ウ

くろ 久僧 クソ 紀廿二 按後世アコクソナト名ニヨビ又

くろ 久波也 クハヤ 神 按久一本壽ニ作レトモ ナホ久ニシタカフヘシ

くろ 久々礼々 クレクレ 神 早歌

○ 計

けい 蓋 紀 儻 字 又タトロ

○ 許

この 是 記此 茲 上記 許能 記已 乃 仁足

こ 是 亦記 此者 記是 奴 上記

こふ 於是 記 爾。於茲 是 式紀 爰 九紀 粵 日 於焉 三

こ 此間 記紀 許已 三十 特。別。異 紀

こふ 悉 記 盡 上 別天神 上

こふ 咸 一紀 悉 上 殫 三十一 據鄧馭鄧母 紀

こ 小 式 微雨 紀廿四 已世利 大并 小來 和

こ 是。此 紀 許礼 記 是以 紀

こふの 已礼乃 仁足 異 紀

こき 許紀陀 記中 許登表許曾 記下

こき 許紀志 記中 許貴太斯伎 統十

こき 已々太久 統廿五 許々太久乃罪 式ハ

この 所以 紀一 相 紀十四 交 遊仙

こ 相向 紀一 許々良鴛之鳴 新万

こふ 因此而 記上 由是 統十

このゝ 頃者 記上 五三 比 続二 三ウ 廻者 日廿五 十六オ 比來 続廿二 七オ

こゝや 古波夜美麻紀伊理毘古波夜 記 按久ハヤト 中 音通カ

こゝち 許知能夜麻 記下 廿四オ 此方 式ハ 四十

こゝち 許知基知能夜麻能 記下 廿四オ

こゝち 自此以還 記一 廿六 自後 日一 廿六

こゝち 自其餘 記 中 訓ハアヤリ也 自此以外 紀 廿五

こゝち 心異 紀十三 今按コノコトニ可訓ニヤ後世コレヲ一ツ辞ト 九ノオ シテコノコトニトオナルハシノモ、カル心ヨリイテラルカ

こゝち 左右 紀十五 六ウ 兩邊 遊仙

こゝち 或故 紀十三 四オ 故 日上 四ウ 故々 又ネタケニ 按コトサラト去古語

こゝち 許等梅涅磨 紀十三 八オ 已止毛也須良仁 風安津 未知

こゝち 幽室 コダシヤムロ 遊仙 コサヤ 古佐也介久 風 小車

こゝち 太加已毛加与不名 タカコモカヨフナ 風筑 按コノヤウニモカヨフ者アリヤ 波山 否ノ心カ可考

こゝち 是 コレ 曾此 コノ 乃常世之國 度 良比 続後十九 十三ノオ 語 良比 続後十九 十三ノオ

こゝち 古礼也古乃 催 大芳 古乃毛加乃毛仁 風 常陸

○ 左

狭霧サキリ記宣五サハ
佐和多流ワタル日中佐鳥サバ磨志バシ紀七
九ウ

狭夜通サヨスカラ統後十九
三才

總之狹別島サワノ記宣五サハ早ノ意
早總早嚴ノ類ナリ

狹蠅サハバ記狹ノ意ナリ
正身サシミ記中四十一
宣五サハナリ

先サキ記上御前ミサキ日上
指サシ記上ニ才

如先サキノト記上貫前スキノサ和
装ノ部ニイダス

狀々サマサマ統九ノ十八才
佐表々サヲヲ尔波ニハ記下十八
宣五真小峽

鷯鷯サバサバ紀一
大雀命オホササキノミコ記中細石ササノイシ和泊サハラナミ洧サハ水日
免也上

然サカ統紀十七ノ廿五
今按宣コレラ皆サテト訓タレト
又サノ二日三ナオシカト訓ヘキニヤ可考

狹々サハハ貪釣マダ紀一
按ス、ト音通ス、ナ
ト同意力可考

宇多陀怒斯佐々ウタダヌシササ記中
佐波礼止字止字サハレトウツトウ風
我門

審神サニハ紀九ノ一ウ
正意密サハラカニムツシ遊仙

摩佐豆古和藝毛マサヅコワギモ記下宣五ニツラフ
三才児ノ畧カ

佐瑤羅餓多サヲラカタ一ニ
紀十三按サ、ラハ小ヲカカタハ形ナ
シキノモヲカニセウ紋ノコマカ初錦ノヒモトナリ

以左々者イサ、バ東駿
按イサニナリ
佐牟幡サモハタ新万下
可考

さきふ 前々 続後 先々 三 六

ゆ 佐伊不 風 大鳥

さたふ 心真丹 新万 下

さたふ 分輸等 遊仙 下

さる 佐利砥手 新万 下

さ 数ノ約マリタルサナリ
装ノ部サノ件ニクハシ

はらふ 遮莫 遊仙

さい 左以之名也 真金吹

さきむ 沙文年太知也 浅水

さる 左良左良尔 美作

さばり 左許 江誇

○ 志

志か 然 記紀等

志る 云々 紀等 之加 シ 天波 ハ 催 葛城

志る 暫 記 俄 紀二 且 日 七

志る 志波志 神 登目

志る 頻 記 連 紀三 歳比登稔 日十二 再三辞 日廿四 十一

志る 自何 続廿二 宣云其之 ナリ

志る 固召之 紀二 廿一

志^{セウ}暫^{紀一}須臾^{日二}且^{日三}暫^{日九}頃^{日二}時^{日二}

俄^{ニウ}而^{日六}俄^{日十三}旦^{九ウ}食頃^{日廿六}片時^{日上}造次^{日上}

志^{セウ}數^{紀二}屢^日頻々^遊極^魚數也^字

志^{セウ}淋病^{波利}三^{和名}志^{セウ}獵矢^{紀廿}十三才

志^{セウ}ぬいふ^{装ノ部ニ}志^{セウ}ぶふ^{装ノ部ニ}イダス

志^{セウ}志波迹波^{記申宣云云}志^{セウ}ぶ^{装ノ部ニ}イダス

志^{セウ}ち^{シカシナガライケモノ}一切衆生^{紀十九}惣^{シカシナガ}總^{都盧}已上

志^{セウ}や^{置々}志^{シヤ}夜^コ胡^{シヤ}志^{シヤ}夜^{記中}阿^ア々^{シヤ}時^ヤ夜^フ塢^{紀三}六才

志^{セウ}沙^{シヤ}畧作^{キム}支^ム牟^タ太^チ知^ヤ也^催佐ノ件^{浅水}可見合

志^{セウ}かめ^加以^{紀十三}然^{シカ}乃^味味^ア在^{ラズ}統^{廿六}十一才

志^{セウ}の^{シカ}帝^字志^{セウ}あ^{シカ}あ^{シカ}の^{シカ}と^{然物}乎^{三代十二}八十才

志^{セウ}れ^{シカ}而^{止毛}統^{後士}十丁才

志^{セウ}ふ^{シカ}土^{紀一}爾^{五才}又^{六等三才}

○ 須

きでふ 隨命既獻也 記上 宣士岐ラノ既ハ常ニ事ト異ニテ 四三ウ 悉皆ト去意ナリ

きでふ 凡 紀 捻合 紀廿八 都遊

きでふ 手次 記上 紀廿九 次田 十オ

きでふ 小 記上 紀一 少 紀中 以末 須已之 難波海

きでふ 小 和 三

きでふ 小史 和 三

きでふ やう 急 紀一 早 日 遄 上 灵

きでふ やけ 不急攻迫 記中 卽足 字

きでふ ふ 寸斬 遊 ツダクノ件 可見合

きでふ ろ 不覺 遊 漫行 上 日

○ 世

せ 白石 詩唐風 按セハサット同シラキハラケノ通音ニテ レヲ迄テラケト去也サレハサット去三同シ

○ 曾

その 其 記紀 彼 記紀

それより 自尔 記上

そ 曾 賀 其 記 我 統紀

それより 自其餘 記中

そ 彼 々 茅原 紀事七按ハ

そこをく 若干 紀 作許 遊仙

そ 其 記

そのが 曾 遇 餓毛 苔 紀三

それよ 所 礼 毛 神 曾 礼 尔 已 曾 催 走井

そこ 其 処 記上 曾 許 日中 其 地 日下 彼 處 紀一

そ 絲 曾 泥 賀 母 登 記中 曾 祢 梅 屠 那 藝 豆 紀三

そ 浮 辞 紀十九 其 甲 式八

そ 其 廂 記中 そのみ 當時 記中

そ 暗 新万下 そ や 曾 与 也 催 櫻人

そ 曾 毛 々々 百足之虫 統世 曾 与 未 佐 尔 風 小車

それ の 其 之 記中 夫 之 日下 其 年 其 月 日下

そこより 曾 已 与 之 也 催 新年 同梅枝

○多

誰記紀詎タレ多タレ礼レ多タレ例レ拖レ例レ

多タ賀ガ記レ拖レ我レ多タ尔ニ賀カ毛モ余ヨ良ラム年ム記下

太タ礼レ曾ソ古コ乃ノ催ニ阿タ誰ソ後一平平野野祭祭

直直徑徑徒徒多多陀陀迹迹

唯唯直直刺刺國國凡凡人人俗俗徑徑路路

輒輒輕輕爾爾而而多多夜夜須須久久

味味物物珍珍味味立立處處

天天甜甜酒酒醴醴和和名名

但但但但装装ノ部部

專專和和今今按按タタメメハハモモハハララ古古語語ナナルルヨヨシシアアレレト

玉玉籤籤玉玉牆牆玉玉水水麻麻多多麻麻手手

互互逆逆交交遊遊装装ノ部部

互互逆逆交交遊遊装装ノ部部

たちち 儻忽記忽上 忽然紀三 奄然灵中

たひ 假紀一 縱使。要假。縱。若使已上 假令紀三 統

たゝく 日右

たゝく 適紀十七

たいま 適是時紀六 適遇日 向來遊

たまふ 適紀十五 邂逅三代 偶灵 寓遊

たひ 遍重タヒカサネ 天統廿二 装ノ部ニ

た 手力男神タチカラノ 手長タチカ 大御世式 太平利タラリ 得銭子神

○ 知

ち 千チ 千秋千稻チノノ 利也利也 ち 千々乃木葉チハノコノハ 江訖江訖

○ 都

つひふ 遂記 都毘迦ツヒヒニ 記下記下 つぎ 尋紀三 次統一

つねふ 常。恒 記 紀

つきふ 次 記 紀

つねも 常 母 繞十七 十九ウ

つね 常 与利 上 都 祢乃 俊

つぎふ 次第 記下 世オ

つむぐり 装ノ部ニ イダス

つば 壺 ツボ 江十 八オ

つき 急居 ツキウ 紀五ノ 八オ

つぎふ 具 記 紀 等

備 委曲 日 麻都夫佐 日 上 細 倭世

つぎふ 寸斬其蛇 ツタム 紀一 世ニ

條然 ツタム 紀一 世ニ 都太 靈中

つぎふ 審 紀三 六オ

曲 委女曲 日五 土オ 灵中

つ 津長井 ツナカ井 式 八

今按ジバニ通テタヘ辞ナリサレハ 手長ノ御世ナト太タト同然可考

つら 究 紀六 二オ

つら 細 遼 築々 砥 新万

つとめ 且 記中 三ウ

つと 都字川 ツジ 出風 楯縫

つと 晨 紀五 二オ

夙 日十九 二オ

早 日廿五 十九オ

○ 天

て 豊島 テ シニ 和六

按トユヲ約テ イフナリ

てむげ 帝大恕募求天下ラムゲニ逸二按天下カサシテラネド後世一種

○ 止

とよ 登余本岐トヨホギ中記豊草原トヨアシハラ一紀豊逆登サカノリ式ハ以外記紀等

とこ 常世トヨ紀記登許余尔トヨコ蓬萊山トヨコノクニ紀四

とく 恒トヨ記上四九オ等虚辞倍迹トヨコシヘニ紀十三ハウ長月廿五廿ウ

とく 共与天地無退トコトハニ記中四八トコトハニ止已止波尔トコトハニ仙足

とく 常堅トキハカキハニ記上四九オ堅石常石カキハトキハニ三代十カキハ堅般石トモ常般石トモ式八ニウ

とき 出右 時々也往々也トコトハニ記中五十九

とき 時々記中等枳々々キトキ紀十三ハノウ

とき 急記中頻式四ノ鳥鳴声富聞トミキコエ辰倭世

とき 装ノ部ニイダス何往トモニカハ将門

とき 止字々々トウ催按今俗ニトウクハ云々ナト云ニ月欵

とき 止々居止々居トシトロトシドロ催浅水百度座トバ西官可考八月

ともがも 取捨 トモカケモ 紀二 十三ウ

とどろ 刀志止度 トシトバ 統世ノウ オミトノ件可見合

とゆまがくさま 東西 トサマカクサマ 紀十四 六ウ 左右 統後十 三代十 止散加宇散 トサンカウサン 我門

と 鄙 トキナル 止比止 靈序 考證古外人之美 對都人之言云々

○ 奈

な 汝 ナ 記上 又下 那波 ナハ 日 上 那賀 ナカ 日 上 儼虚曾波 コソハ 紀 土 汝者 ナヒト 日 十三

なむ 汝 ナシ 紀 奈牟多知 ナムタチ 式十六 儀十

なふ 何 ナフ 記紀 何 ナニ 志岐 統世 十五ウ 何 ナニト 加 統後十九 就中 ナカニキ 後紀世二共 又統後三代

なふと 何 ナニ 志岐 統世 十五ウ 何 ナニト 加 統後十九 奈仁曾 ナニソ 倭世

なふと 何 ナニ 志岐 統世 十五ウ 何 ナニト 加 統後十九 奈仁曾 ナニソ 倭世

なふと 那尔柯 ナニカ 紀廿六 四ウ 那尔騰柯母 ナニトモ 紀廿五 廿ウ 何由 ナニヨ 記宣十上 訓多

なふと 名仁志加毛 ナニシカモ 神星 催高砂 七 ナニ 紀二 九ウ

なふ 猶 ナニ 紀 尚 ナニ 日一 又二 那泥 ナニ 記中 十ウ

難通 抄 廿五

那勢ナセ 那迹ナニ 妹モ 記上ナニモ 汝ナニ 妹モ 紀ニ

何由ナゾモ 汝泣伏ニ 記上ナニモ 廿五才ニ 那麻ナマ 那麻迹ニ 記中ナニモ 四七才ニ

何爲ナニ 紀二ニ 何ニ 倭世ニ 中ナリ脚結ノ部ニイダス

那村佐ナドサケ 祁流斗米ニ 記中ナニモ 九才ニ トニ 並ニ 紀十四ノ廿六才ニ 按三ナリ訓ニキヤ可考

奈止ナド 加波カハ 風知々ニ 如何ナトイヘモ 紀十九ニ 廿六才ニ

奈与也ナヨヤ 催ニ 真金吹ニ 平生ナホサリニ 遊仙ニ

鮪ナハサハ 大魚ニ 和十九ニ 愁ニ 東六ニ

指甲ナマツノ 紀十六ニ 生蔣ナマコモ 式世七ニ 生宮達ニ 古談ニ 一ニ

倪ナニ 靈中ニ

尔

新ニ 記紀等ニ 新巢新室ノ類也 迹比婆理ニ 記上ニ 四十ニ

倏忽ニ 記中ニ 急ニ 卒ニ 紀三ニ 奄然ニ 日十七ニ 頓ニ 日廿九ニ 廿一ウニ

一旦ニ 尔三代廿八ニ 甚急ニ 記中ニ 卒尔ニ 統世ニ 又遊ニ 四十三ニ

志波迹波迹具漏岐由惠 記由今按發語カゴキノ類カ
五五才冲去主黒也宣云鈍メカ

ふへきふ甚 紀三
九才 ふた 装ノ部ニ
イダス

ふへ 尔倍魚 肥後風

奴

ぬー 主 記紀
等多 宇多奴志 逸世
ハウ 阿止奴志 仏足

ぬか 蛔 ヌカ
字
一作蛔 零餘子 按一本
可從
和十七

ぬ 天淳名井 紀一
廿ウ

○ 祢

祢もろふ 殷勤 紀二
士才 至誠 日九
十七才 漆 日十五
十ノウ 喜 日
士才 切 日十七
六ノウ

資敬 日廿二
十ウ 務 日廿
十九 懇 後紀
二十 叮嚀 遊仙

○乃

のち 後 記紀 等

のち 後 遂 紀九ノ 十七才

の大日靈貴 オホヒルメノムチ 此古於保比屢 紀一 按ノムチハ名持ト云ナリ 咩能武智 八才ハハ十二通ナリ

○波

はじめて 初 記紀 紀始 紀一 元 日一 甫 日十二 十八

はじめて 開闢以來 ハシメヨリコノカタ 統十七 十五ウ はこ 葉木國野尊 ハコクニヲ 紀一 一ウ

はやく 既 ハヤク 記中 宣云此ヲハヤクト訓メリ早速ト 波野俱 ハヤク 紀十三 八ノ才

はや 早 紀一 八才 はと 波礼 ハレ 備周 所々

はるふ 波魯波魯尔 ハルハ 紀廿四 十三ウ 遙 記上 廿八ウ

はるふ 甚 記下 ニウ 太 紀一 八ウ 大 日十四 六才 痛 遊 非常 日

はる 初 記中 ハツタニラス 紀三 十六 御肇 日五 九才 早穗 ハツホ 紀十八 十三ノ才

はる 將 紀二 十才 抑 日三 一ウ 爲當 日十九 廿年 ハタトセ 式 波太 ハタ 神又 催

はる 波也末之介也末 ハヤメシケヤメ 風 筑波 苗裔 ハツメコ 遊仙

はる 果 紀一 日三 終 日三 九才 須衛波安陀志氏謀 日十六 二ノ才

雅言通考 廿八

鼻ハナ切四位五位
西宮 按鼻ハ假字ニテ
臨時 刊キト云ニオナシ

比

獨記上儼字
一作儼
ひと
記中 以ハ脚結也再考ノ
四十七 タノ山ニオクナリ

毗ヒ儼タ利リ
紀三ノ
十一オ
ひと
獨ヒトハナラ紀三

頓記單紀十九
廿八ウ
常ヒ鏤タ盜ヌス人ヒト
紀世
廿ウ

私記上竊日中陰紀一潛日三密日五諱中
四九 世七 十ウ 六オ 六オ 六オ 中 女 字

永紀一既切日二ノ頓日六ノ
十九 世四オ 六オ

一向統十三ノ上ウ
統後八ノ四九ウ
ひと
道ヒトミチニシテ志天統廿七
十七オ

單記下一紀二
三六 一 廿二オ
ひと
愛子一也ヒトクセ統十九
十九オ

心偏コハロヒトハ遊
ひと
終日記十三竟日遊
九オ

人國ヒトクニ用理ヨリ統十七
十五ウ
他自ヒトモワレモ遊仙
ひと

曾孫ヒコ字
ひと
比波煩ヒハハ曾ホソ記中 宣云俗云
四十 ヒハハニ日

蘗ヒコハエ和二十
杪ヒコエ木末也木字
細枝也

○ 布

ふく 俯 紀二
一ウ

ふく 都。尽 紀
所々 悉 紀
三代 按悉ハコトニト

ふつく 悉 紀十九
廿六ウ ふき 頭髻 タキフサ
紀七
十三 髪 日九
十ウ

ふく 秋葱之轉双納 イヤフタニモリ
紀十五
十六ウ

ふく 再 紀
等 兩般 遊

○ 閑

○ 保

ほく 殆 記中
廿七 幾 紀
等 乍 遊 ほく 擅縦肆 紀
已上 專 遊

ほ 秀真國 ホ
ツマクニ
此去袍圖
紀三
最手 ホ
デ
儀九
相撲

ほ 本陀理 ホ
タリ
記下
廿一 今按ホハ大ノ意ニテ大鐔カ

維通載抄卷之一

挿

ほ 大、土畧 装之部ニイダス
ほ 神ノホクヲ類大ノ意カ又ハ禱ノ畧カ可考装ノ部ニ出ス

ほぐ 畧 粗鹿 又アラ字
ほど 百部 保正 和名 豆良 廿

ほのふ 側 灵 佛 字 髻 髻 新
ほ、 厚朴 字

○ 麻

ま 麻具波比 記上 眞賢木 眞名井 日 已上等ノマナリ 十五 諸唇ニ多シ

まゝふ 寔 記中 誠 記中 信 記 固 紀一 允 日 十四 實 日 十五 〆

まゝゝふ 麻古曾迹 記下 九ウ
まゝゝゝ 麻都夫佐尔 記上 廿一ウ

まゝ 先 且 記 紀
まゝゝ 前 記 紀

まゝゝゝ 先 豆 先 豆 続四ノ 三オ

まゝゝゝ 日 眞名子 式 眞名鶴 倭 末名年須女 催 我門

まゝゝゝ 庶兄 記中 庶妹 日下 継父 字 嫡母 日 上

まゝゝゝ 庶母 注六 紀四ノ十一ウ 末毛 按、オモノ畧
まゝゝゝ 装ノ部ニ イダス

亦。且。又。已上 記紀等 復。重。尚。已上 紀等 別。名。記上 世九

万。志。毛。加。止。神木綿作 催高砂等 知。杼。理。麻。斯。登。々。記中九才 按汝ノ上更力

方。記上 五五 顧。眄。紀一 九才 麻。呂。末。呂。紀末呂 催鷹子 風子ハハ

正。鹿。山。津。見。記上 八才 麻。呂。古。紀十七 九ウ

益。記滋 紀五 十八加 十四才 酏。字。益。々。須。逸。一。十四才

間。響。遊。間。出。同上 却。更。紀一 四才

正。方。當。適。已上 紀等 麻。佐。尔。仁足 等

面。紀十七ノ十八才 又十三才 眼。當。續十 廿四ウ

全。紀廿六 六ウ 末。之。天。催 貫河

豫。懼。紀七ノ十三才 按アラカシト可訓也 末。利。椰。紀九ノ十私記去曾冬 去々今世コソカキ欽

末。祢。那。加。利。曾。也。風 雀鷹 麻。佐。豆。古。和。藝。七。記下

御。躰。式又按此ノハ 儀 身ノ通音 津。臣。偃。儻。磨。此去俱紀按豆身ト 豆磨 イフ忌カ

美

み 御中^{ミナカスミ}生神^記 御^ミ鬼神^{日上} 御^ミ紘^紀 已上等ノ三十リ
一 諸君ニ多シ

みづ 瑞^紀 水^{ミツ}穂國^{ホノ} 記
みき 汝^記 所々

みち 并^記 皆^記 食^紀 咸^{已上} 水^{ミナ}涌^式 宣^宣 水ハ假字ナリ

みま 御^ミ真^記 中^中 十六才

みづ 自^紀 親^{已上} 躬^紀 漫^紀 遊

みだりに 妄^紀 浪^日 漫^日 遊^{十七ウ} 美川波与川波^{ミツバヨツハ} 催^{此殿}

○ 武

むね 正身^記 實^紀 寧^紀 一ノ 十八才

むね 要^{ムツキ} 用^紀 五ノ 按^二 終^{タル} 九才 三才 真物カ

むつ 六^紀 廿五 廿二ウ

むね 无^ム 祢^ネ 止^止 曾^上 竟^上 む 牟^ボ 保^保 許^許 式又按ハニ通フ 真^真 録^録 トナリ

○ 米

○ 母

もろ 諸記紀 衆記紀 群已上 同船此女母慮紀古按紀八但ノ誤テ

もろ 衆記紀 諸記紀 毛呂毛呂仁足

もろ 毛々知陀流記中 百枝紀二已上等ノ

もと 本記紀 故記紀 元統 もとも 最紀十九

もの 簾廣物記上 生一物紀 按コレヲノ物ハ名ナリ脚結ノモノニアラス

もろ 專記紀 純紀四 全月十九

もろ 自本記紀 元本 固素從來 元來紀已上 舊來紀

もろ 或記紀 若記紀 如紀 縦儻 爲當紀已上

もろ 六合記紀 之中心紀三 天中央月三 國塙區月廿九

もろ 一時記紀 同時紀十四 俱時月廿ノ

もろ 若紀二

○也

やハ東^{ハツカ}八度^{ハクダ} 記等 已上等ナリ

やむ^{ヤム}動^{ユウ} 將門

やそ耶^ヤ蕪^ソ 紀八十^{ヤッ}式^{シキ}八匹^{ハツ} 紀八箇^{ヤツ}耳^{ミミ} 記

やほ^ハ百^{ハク}式^{シキ}八重^{ハチ} 日上耶^ヤ陛^{ヘイ} 紀 已上諸君ニ多シ 悉不及引證

や^ヤ稍^{シウ}差^サ 紀漸^{セン} 紀良^{リョウ} 江遊又徐^{シュ} 遊仙

や^ヤリ^リ 中稍^{シウ}步^フ 紀微^ミ 紀緩^{ケン} 日徐^{シュ} 遊仙

や^ヤ也^ヤ字^ジ也^ヤ字^ジ 神号 やと^ヤ也^ヤ礼^レ名^ナ 風 大鳥

やあ吐^ツ嗟^サ 紀 又アヤト訓リ やと^ヤ也^ヤ礼^レ 古詮

や^ヤ 出靈^{リョウ} 夜^ヤ々^ヤ止^ト 古詮 や^ヤ 良^{リョウ}久^{キウ}之^ノ 日上

や夜^ヤ賀^カ多^タ久^{キウ}斗^ト良^{リョウ}勢^{セイ} 記下 宣去上 堅リウハノ約ワセトヤニ通シ 世一テ古ルニヤ去々此説非カ可考

や^ヤ 即 記上 九等 頃 紀七ノ十二 按コノニツノ頃ノ字 ヤカテトヨムヘキカ

やつ^{ヤツ} 賤 記中 奴 記紀 小臣 紀世一 賤臣 紀世三 二ノウ

やつ^{ヤツ} 吾 紀等 阿ノ件 可見合

○ 由

湯津 由都 記 已上 五百箇

紀 按イホト訓衆トモ詞上ニアク 皆ツメテ去例ナク此ヲモテト訓キニヤ

由加 式一 雜器 日七又儀

按ユカハイカミカニ通シテ 嚴ソコロナルヘシ

由 スルバチ 蜂 和十九

由 力 努力 紀三 日苗 加 字

○ 与

よく 能 記 紀吉 一作 神御前 善 作法

よ 和 從遊

よ 縦式 好遊 与斯登岐許佐婆 記下 七ウ

よ 時々 時 記 紀 乍出遊 頻々可々 同上

よ 世 尔 モ 不在 三代十三 十七オ 与也奈 風 小車

よ 与 之奈之尔 催 我門手 与 字

よ 冊 冊 將門 歌日冊尔手毛風ノ夕ヨリニ 冊尔手毛花ノ有ノ古々

○ 良

奈与也良伊之奈也催真金吹

○利

○流

○礼

○呂

○和

吾我紀朕紀和礼紀和例紀

和乎催和賀紀和餓紀

和字紀廿六和已於保支美統十五

狹別島記上豐日別已上等ノ

早栗逸七早穗三代十八和佐多仁神

兒遊紀私紀葉居紀六

破手羽裏新万纔記上僅紀十二

和奴志江談三善相公与紀納言

○ 爲

みぢく

坐

井ノカラ 紀三ノ 九オ

○ 惠

○ 遠

を 小

ヲフネ

小國

記

小泊

瀨

紀

以上等ノ

を 遠

紀十五 十オ

鳥智

日九 十オ

彼方

式

水表

敵

紀廿三 十ウ

を 遠

近

紀十五 十オ

を 遠

佐

万佐

神 蟋蟀

今按ヲサクニ同ク鈴意ヲヘシ考ニ
オニ改ラレタド万又源常本ヲサク考合

を

表

由岐

阿閑

古下ノ世 可考

を 老

翁

紀三ノ 十六オ

を 折

蠅手

新万 上

を 唯

々

紀十二 五オ

祢唯

式八 一ウ

を 少

男

少女

紀 已上等ノ 一ヲトナリ

雅言通義卷之一

五十八

卷之五

明治二十一年
第千四百九号

